

令和6年度 第1回函南町環境審議会 会議録

[会議の開催の日時] 令和6年11月18日(月) 午前10時00分～11時18分

[会議の開催場所] 函南町役場 4階特別会議室

[出席者] 委員：(会長) 森委員、(副会長) 山下委員、鈴木(和)委員、
仁科委員、遠藤委員、小松委員、菅沼委員、鈴木(久)委員、
内田委員、藤井委員
町：仁科町長、大沼厚生部長、飯島環境衛生課長、
芹田課長補佐、笠井係長、

[傍聴者] 1人

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委嘱状の伝達
- 4 委員の紹介及び正・副会長の選出
会長：森 洋子 様
副会長：山下 雅彦 様

- 5 会議
・函南町環境基本計画年次報告

【事務局説明】函南町環境基本計画年次報告書令和5年度実績(案)と令和7年度重点
行動指針(案)

【質問及び意見要旨】

委員	評価にABCがあるが、CとDが3つある。生ごみ処理機がCで、水生生物観察会がD、鳥獣による農作物の被害がCであり、今後の課題としてこのC、Dの3つを解決、上手く行っていけばいいと考える。 生ごみ処理機の目標設定の仕方について、太陽光システムなどは累計であり今までの実績を積み上げて考えているが、生ごみ処理機だけはその年々の申請件数である。目標値を累計にした方が良いのではないかな。 水生生物観察会は、募集人員が30人で目標が45人になっている。例えば1回開催を2回にして、全部集まれば60人になるという設定をしないと思う。また、水生生物などと記載しているので、原っぱの生き物を探そうとか、農業と絡めて収穫体験みたいなことをセットにして生物の調査をしたり、今年、有機農業推進協議会が発足されたので協議会と連携して観察会みたいなものを開いたらどうかと感じた。 鳥獣による農作物の被害だが、生き物が絡むのでこちらの都合ではうまくいかないと思っている。猟友会の皆様が捕ってくれているので、被害も減っていると思うが、それが追いついていない。捕る人を増やす対策を考える努力をしてもらえるとありがたいと感じた。
事務局	生ごみ処理機の補助件数の目標設定は累計にしない理由は特段ないので、中間見直しのときなどに目標の設定方法を変更することを考えたい。 水生生物観察会などの参加人数は、委員のおっしゃる通りだと考えて

事務局	いる。水生生物観察会だけではなく、人と自然との共生という中で、子供たち、また大人の方々に自然と触れ合う機会をできるだけ多く設けた中で、参加していただけたらいいと考える。委員からいただいたその他の農業に関するイベントや他の川に親しむイベント、また皆様の方でもそのようなものがあればぜひ教えていただき、町民、事業者様に情報を共有し、参加人数が増えたらいいと考える。 鳥獣による農作物の被害は、委員もお話いただいている通り、猟友会の皆様のご協力や防徐柵、防護するということが大切と考えているため、農政部門と共有をしながら対策等も考えていきたい。
委員	ごみの分別の徹底、資源化の推進に、スーパーでの店頭回収など、再資源化を支援しますという内容がある。具体的に考えていること、検討されていることがあれば教えていただきたい。 フードバンクやフードドライブの有効活用の推進・促進とある。親会社の方では、フードドライブを進めて、店舗で実際にお客様から賞味期限の近い商品を回収して、フードバンクに商品を送った実績はある。町の取り組みとして何かお考えを持っているのかどうか。
事務局	スーパーでの店頭回収など再資源化の支援について、各スーパー様の入口に資源ごみ回収ボックスを設置していただいているということを町でも把握している。町も積極的に利用していただきたいと考えている。各店舗様の入口の資源ごみ、紙ごみ関係の回収ボックスの他町内にも資源ごみの回収ボックス、紙ごみのリサイクルボックスを設置しているということで認識をしている。各店舗様または事業者様のご協力をいただいた中で、できるだけそちらの利用をしていただきたい。商工会様の方でも、紙ごみ関係のリサイクルを始めたところで、町と事業者様の方でご協力をさせていただいた中で、できるだけごみを資源にと考えている。 フードバンクやフードドライブの有効活用の促進の中で、町の方では、期間限定だが社会福祉協議会が主体となって、役場一階の福祉課付近でフードドライブの募集をしている。企業様が実施されていることの情報共有を町の方にもしていただき、一緒にご協力をしていただいて、捨てるものを皆様にご活用いただくことを推奨していきたいと考えている。
委員	事務局から、商工会でのごみ回収の話が出たが、個人情報が入っているごみをどう処理するかということがあり、それを処理する会社と提携して個人情報が出ないような形で回収することを始めようとしている。銀行関係などは個別に依頼しているようである。今回商工会は商工会関係で個人情報のものを処理したく、回収を試験的に実施する。
事務局	町の方でも承知をしており、今までそのまま燃やせるごみに捨てられていたフィルムの付いた封筒やホチキスの付いた書類なども外さずにリサイクルできる案件だということで、私の方でも承知をしている。
委員	環境基本計画の見直しの結果は、上位計画の函南町総合計画のようなものにどのようにして反映するのか。 指標をどこかで見直す話があったが9年計画の2年目で、今回は活動

委員	をやったやらないなど、そのような指標になっているが、例えば LED を設置したことによって CO2 がどれくらい減ったか、経済効果はどれくらいあったかなど、そこまで数字が出て評価だと思うので、9 年計画の中間くらいでそういった指標にされてもいいと思った。 最終処分場の埋立ごみ量が 2021 年度から 2022 年度で大きく減っている理由がわかりにくかった。 企業向けセミナーを開催し、脱炭素経営を進めるための情報を提供したとあるが、情報を提供した結果、企業に何らかの変化があったか。
事務局	総合計画への反映は、2 年後の函南町第 7 次総合計画の策定をするにあたり、今の環境基本計画の状況、また年次計画を含めた上での環境施策、環境は目まぐるしく変化をしているため、そういった部分も反映をしていきたいと考えている。 LED の設置等による効果は、今年度庁舎内の LED 設置改修や省エネ家電の補助金など新規事業を実施しているので検証したい。 最終処分場の現状は、今まで最終処分場に鉄くず関係を埋めていた。有償鉄がオリンピックの関係で高騰し、業者様に買い取ってもらっていたが、その後鉄を町でお金を払って処分をしなければならず、最終処分場に一部埋め立てをしていた。最終処分場を長く持たせるためにも埋めるのではなく、お金を払ってリサイクルをしていくよう方向転換があり、最終処分場の埋め立てが減っている状況である。 企業向けの脱炭素セミナーの効果は、実際に各企業様の方で関心を持たれてどのような行動に移したかというところまでは検証ができていない状況である。参加された企業の方々、興味がある方々にお話を聞きながら検証していきたい。省エネ家電の補助金を今年度から実施しており、現時点で個人が 124 件、事業者が 2 件、合計 126 件の申請となっている。
会長	今日の審議会では、環境基本計画の年次報告書令和 5 年度の実績と令和 7 年度の重点行動指針の案の説明がされた。今日いただいたご意見は、事務局において修正などをさせていただく形にしたいがよろしいか。 ありがとうございます。ただいま了解を得たので、今後そのように進めていきたいと思う。 本日の予定されていた会議の内容は以上をもって終了する。ご協力ありがとうございました。事務局にお返しする。

6 その他

- ・令和 6 年度環境審議会のスケジュール
- ・会議録の確認依頼とホームページでの公表
- ・環境美化啓発ポスターの掲示依頼
- ・環境に関する取り組みの情報共有の依頼

7 閉会

以上